

三保の森クリニック

/医療法人 赤枝会 三保の森クリニック
〒226-0015 横浜市緑区三保町195-1
TEL 045-922-5255 / FAX 045-922-5581
WEB SITE <http://www.akaedakai.com/mihonomori>

2023年4号

今回のテーマは透析療法の現況について

透析患者さんはどのくらいいて、どのような患者さんが多いのでしょうか。

日本の慢性透析療法を受けている患者さんの総数は**349700人**です(2021年末)
透析患者さんの数は年々増加傾向でしたが近年患者数の伸びは鈍化しています

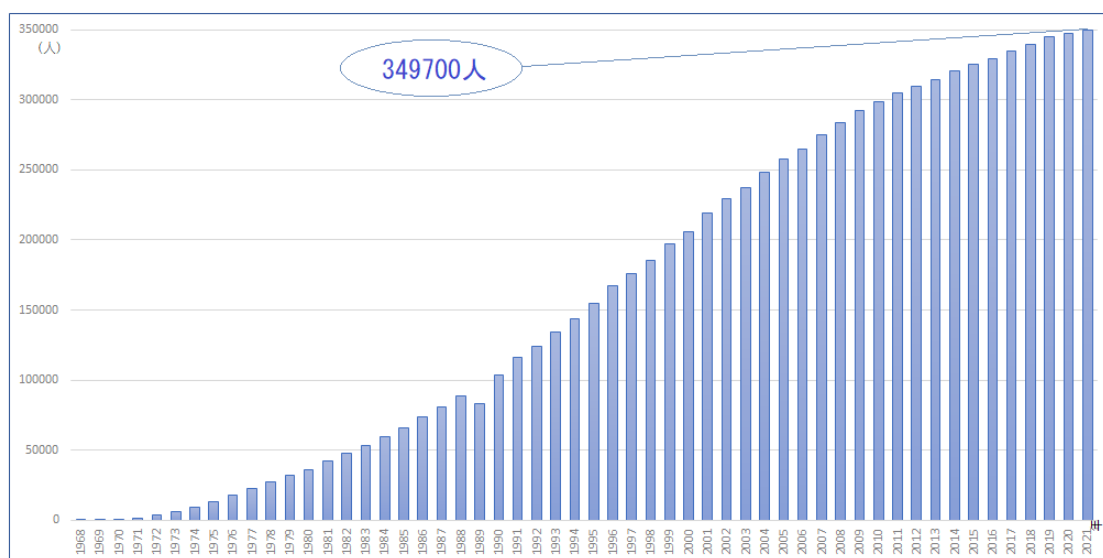


図. 慢性透析患者数の推移

日本では、もともと慢性糸球体腎炎が腎臓の悪くなる原因として一番多かったのですが、食生活や栄養状態の変化とともに糖尿病患者が増加し、その合併症である**糖尿病性腎症**が2011年に原疾患の第1位になりました。第2位は**慢性糸球体腎炎**で、第3位は高齢化や高血圧などにより腎臓の血管が動脈硬化を起こして生じる**腎硬化症**となっています。糖尿病性腎症は1位になってからも上昇していますが、食事管理や治療薬の進歩などを背景に、近年は微増から横ばいを推移しています。腎硬化症は高齢化の影響で増加が続いています。

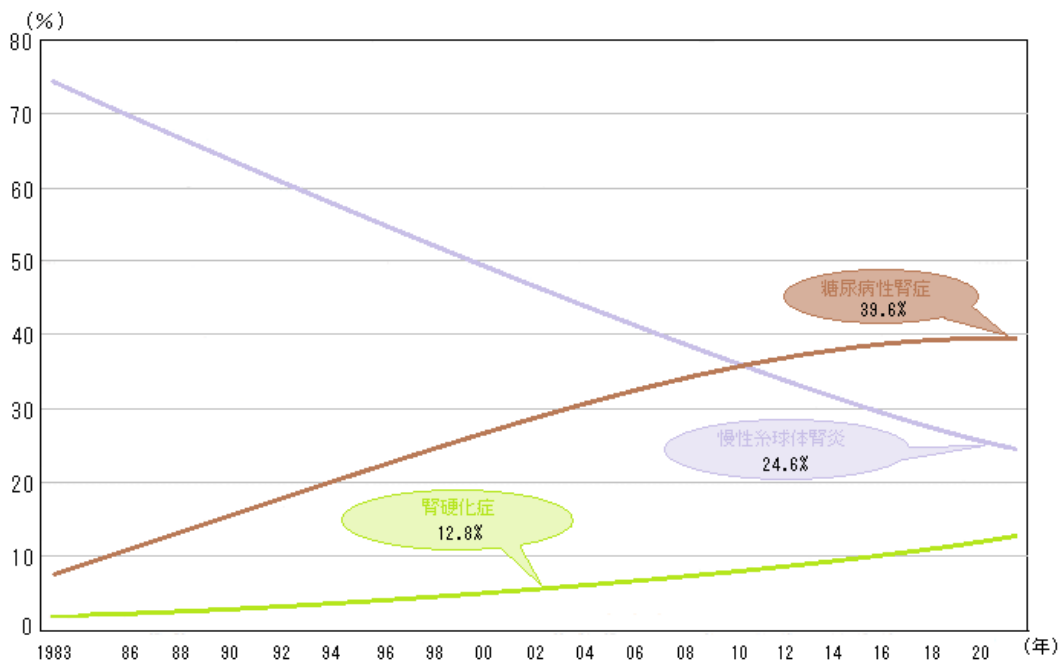


図. 慢性透析患者さんの原疾患の割合推移 (2021年末)

これに加えて問題なのは、透析患者さんの高齢化です。2021 年末の透析患者さんの平均年齢は **69.67** 歳で、最も割合が高い年齢層は **70~74** 歳でした。透析導入患者の平均年齢も **71.09** 歳と透析を始める時点で高齢となっています。

引用・参考文献

日本透析医学会統計調査委員会 わが国の慢性透析療法の現況 (2021 年 12 月 31 日現在) 日本透析医学会, 2021, 12

当院の透析食 Pick up

MENU



グリンピースご飯
 赤魚の煮付
 胡瓜と春雨の酢の物
 野菜巾着煮
 和菓子 枝桜
 ほうじ茶



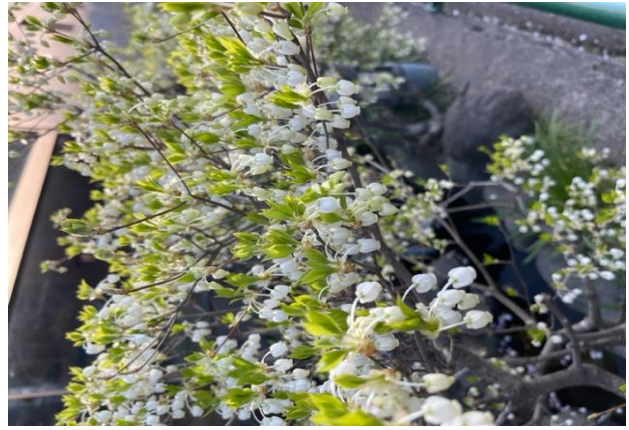
今月は旬のグリンピースをご飯と一緒に炊き、塩と酒のみのシンプルな味付けで豆の香りを楽しんで頂きました。また季節の和菓子として枝桜をご用意しました。春を感じて頂けたら幸いです。

クリニック春の風景

4月になりクリニック玄関前には沢山の草花が成長しています。



さくら



ドウダンツツジ



イチゴの花



スミレ

4月の検査予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7 レントゲン	8 レントゲン
9	10 血液検査	11 血液検査	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/ 30	24 血液検査	25 血液検査	26	27	28	29